

# 有価証券報告書の訂正報告書

## 第84期

自 平成19年4月1日  
至 平成20年3月31日



伊藤忠商事株式会社

(E02497)

## 【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年5月22日
【事業年度】	第84期（自平成19年4月1日至平成20年3月31日）
【会社名】	伊藤忠商事株式会社
【英訳名】	ITOCHU Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小林 栄 三
【本店の所在の場所】	大阪市中央区久太郎町4丁目1番3号
【電話番号】	大阪（06）6241-2121
【事務連絡者氏名】	総務部 増 永 泰一郎 経理部 齋 藤 勇
【最寄りの連絡場所】	東京都港区北青山2丁目5番1号
【電話番号】	東京（03）3497-2121
【事務連絡者氏名】	総務部 武 村 洋 二 経理部 関 鎮
【縦覧に供する場所】	伊藤忠商事株式会社 東京本社 （東京都港区北青山2丁目5番1号） 伊藤忠商事株式会社 名古屋支社 （名古屋市中区錦1丁目5番11号） 伊藤忠商事株式会社 九州支社 （福岡市博多区博多駅前3丁目2番1号） 伊藤忠商事株式会社 中国支社 （広島市中区中町7番32号） 伊藤忠商事株式会社 北海道支社 （札幌市中央区北三条西4丁目1番地） 伊藤忠商事株式会社 東北支社 （仙台市青葉区中央1丁目3番1号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜1丁目8番16号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社名古屋証券取引所 （名古屋市中区栄3丁目8番20号） 証券会員制法人福岡証券取引所 （福岡市中央区天神2丁目14番2号） 証券会員制法人札幌証券取引所 （札幌市中央区南一条西5丁目14番地の1）

## 1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成20年6月25日に提出した第84期（自平成19年4月1日 至平成20年3月31日）の有価証券報告書及び平成21年1月28日に提出した同有価証券報告書の訂正報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、同有価証券報告書の提出日時時点の状況においてこれを訂正するため、有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

## 2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

1 業績等の概要

第5 経理の状況

1 連結財務諸表等

## 3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_\_\_を付して表示しております。

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

(1) 連結経営指標等

(訂正前)

回次	第80期	第81期	第82期	第83期	第84期	
決算年月	平成16年3月	平成17年3月	平成18年3月	平成19年3月	平成20年3月	
<中略>						
売上高	(百万円)	9,509,374	9,562,614	10,456,727	11,556,787	<u>12,387,908</u>

<後略>

(訂正後)

回次	第80期	第81期	第82期	第83期	第84期	
決算年月	平成16年3月	平成17年3月	平成18年3月	平成19年3月	平成20年3月	
<中略>						
売上高	(百万円)	9,509,374	9,562,614	10,456,727	11,556,787	<u>11,729,082</u>

<後略>

## 第2【事業の状況】

### 1【業績等の概要】

#### (1) 業績

(訂正前)

<前略>

なお、日本の会計慣行に基づく売上高は、原油価格の上昇及び権益保有油田の生産量増加に伴う原油取扱数量増、並びに㈱日本アクセスの連結子会社化に伴う増加等により、前連結会計年度比8,311億円 (7.2%) 増収の12兆3,879億円となりました。

<中略>

オペレーティングセグメントの業績は、次のとおりです。当社はディビジョンカンパニー制を導入しており、その区分により記載しております。

<中略>

#### ④ 金属・エネルギーカンパニー

売上高は、資源価格上昇の影響に加え、権益保有油田の生産量拡大に伴う販売数量の増加等により、前連結会計年度比8,091億円 (26.8%) 増収の3兆8,291億円となりました。

<後略>

(訂正後)

<前略>

なお、日本の会計慣行に基づく売上高は、原油価格の上昇及び権益保有油田の生産量増加に伴う原油取扱数量増、並びに㈱日本アクセスの連結子会社化に伴う増加等により、前連結会計年度比1,723億円 (1.5%) 増収の11兆7,291億円となりました。

<中略>

オペレーティングセグメントの業績は、次のとおりです。当社はディビジョンカンパニー制を導入しており、その区分により記載しております。

<中略>

#### ④ 金属・エネルギーカンパニー

売上高は、資源価格上昇の影響に加え、権益保有油田の生産量拡大に伴う販売数量の増加等により、前連結会計年度比1,503億円 (5.0%) 増収の3兆1,703億円となりました。

<後略>

## 第5【経理の状況】

### 1【連結財務諸表等】

#### (1)【連結財務諸表】

#### ②【連結損益計算書】

(訂正前)

		前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)		当連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)	
区分	注記 番号	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)
<中略>  (売上高 前連結会計年度:11,556,787百万円 当連結会計年度:12,387,908百万円)	<中略>  2, 5, 17	<中略>			

<後略>

(訂正後)

		前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)		当連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)	
区分	注記 番号	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)
<中略>  (売上高 前連結会計年度:11,556,787百万円 当連結会計年度:11,729,082百万円)	<中略>  2, 5, 17	<中略>			

<後略>

<前略>

【オペレーティングセグメント情報】

(訂正前)

	<中略>				
	繊維 (百万円)	機械 (百万円)	当連結会計年度		
			宇宙・情報・ マルチメディア (百万円)	金属・ エネルギー (百万円)	生活資材・ 化学品 (百万円)
売上高：					
外部顧客に対する売上高	690,690	1,407,760	722,625	3,829,107	2,289,521
セグメント間内部売上高	609	677	4,275	322	18,937
合計	<u>691,299</u>	<u>1,408,437</u>	<u>726,900</u>	<u>3,829,429</u>	<u>2,308,458</u>
		<中略>			
		食料 (百万円)	金融・不動産・ 保険・物流 (百万円)	その他及び 修正消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高：					
外部顧客に対する売上高		3,036,830	182,068	229,307	<u>12,387,908</u>
セグメント間内部売上高		279	111	△25,210	—
合計		<u>3,037,109</u>	<u>182,179</u>	<u>204,097</u>	<u>12,387,908</u>
		<中略>			

<後略>

(訂正後)

	<中略>				
	繊維 (百万円)	機械 (百万円)	当連結会計年度		
			宇宙・情報・ マルチメディア (百万円)	金属・ エネルギー (百万円)	生活資材・ 化学品 (百万円)
売上高：					
外部顧客に対する売上高	690,690	1,407,760	722,625	3,170,281	2,289,521
セグメント間内部売上高	609	677	4,275	322	18,937
合計	<u>691,299</u>	<u>1,408,437</u>	<u>726,900</u>	<u>3,170,603</u>	<u>2,308,458</u>
		<中略>			
		食料 (百万円)	金融・不動産・ 保険・物流 (百万円)	その他及び 修正消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高：					
外部顧客に対する売上高		3,036,830	182,068	229,307	<u>11,729,082</u>
セグメント間内部売上高		279	111	△25,210	—
合計		<u>3,037,109</u>	<u>182,179</u>	<u>204,097</u>	<u>11,729,082</u>
		<中略>			

<後略>